



# マメコバチの 繭まゆの洗浄方法

【指導員】 園芸果樹課 大和屋 尚享

果樹は、雪害から生産量が回復してきていますが、品質が伴わなくては大きな収益アップにはつながりません。リンゴやサクランボにおいては、高品質安定生産に人工授粉の実施が最も効果的ですが、訪花昆虫利用による授粉を行っている方も多いと思います。マメコバチが代表的ですので、今回はマメコバチの繭を簡単にきれいにできる洗浄方法を紹介します。キーワードは「3分・3分・3分・3分」です。

## 【準備するもの】

料理用のボウルとザル（ザルは網目の細かいステンレス製が好ましい）

①繭を水に浸す（3分間）  
繭を巣筒から取り出す際、ドロバチ（図1）などの天敵を取り除いておきます。



図1

繭を適量ボウルに移し、冷水を入れます。繭が水を弾き浮いた状態になるので、繭を

かき混ぜて、水に馴染ませます。（こする必要はない）この状態で3分間浸しておくと、繭からゴミが取れやすくなります。大きなゴミ（アシの破片など）が浮いていたら取り除きます。

②繭のこすり洗い（3分間）  
きれいになった繭をザルに移します。ザルをボウルにセットし、繭が少し浮く位まで冷水を貯めます。次に繭を網にこすり付けるように混ぜ



図2

ます。（繭を潰さないように）3分間続けると、すべての繭がきれいになります（図2）。

③繭のすすぎ洗い（3分間）  
きれいになった繭を別のザルに移します。上から水道水を流し当てながら繭をかき混ぜ、繭の表面についている細かいゴミを洗い落とします。3分間続けるとゴミはほとんど流れ落ち、繭がともきれいにになります（図3）。



図3

④繭の乾燥  
育苗箱などに新聞紙を敷き、その上によく水切りをした繭を並べます。繭を並べた箱は日の当たらない所に置きます。2日ほどで繭の表面が完全に乾きますが、良く乾いていないと、保存中にカビなどの原因になります（図4）。



図4

⑤繭の保管  
乾いた繭は、菓子箱などの容器に入れます。春の放飼作業前までは冷蔵庫などの低温下で保管しておきます。



洗浄前



洗浄後

◆ 繭の洗浄は遅くとも3月下旬までに終わらせましょう。